



このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎4113
✉koho@city.isa.lg.jp



これまで少し興味がある程度だった車椅子バスケの五輪予選の大会にボランティアスタッフとして参加し、スピード感と迫力に心奪われました。選手の近くでお手伝い出来た喜びはもちろん、車いす席にご案内したお客様が毎日観戦に来てくださっていたことが嬉しかったです。大会は終わりましたが、周囲に魅力を広めるなど、私なり

去年の夏に伊佐で合宿した車椅子バスケット日本代表の皆さんをテレビで観ました。パラリンピックの予選大会で3位と大健闘。伊佐で合宿した方が世界を相手に戦っている姿を観ると身内が試合しているよう、応援にも力が入りました。高校生の鳥海くんが去年より大きくなってたくましくなっていました。彼は2020年の東京パラリンピックで中心選手になるとのこと。これからも伊佐市にご縁のできた日本代表を応援するぞ。がんばれニッポン！
(大口 ゴーゴージャパン 40代)

ジャパンさん、間近で見た人がパラリンピック出場なんて何だかこちらも誇らしい気分になりますね。ご縁を大切に末長く応援しましょう。
(湯之尾 K子 70代)

幼き頃、11月23日の湯之尾ホゼを楽しみにしていた。年に一度、参道の出店で綿菓子などを買い食いすることである。笛太鼓の音が聞こえると、拜殿前に行つて4匹のシシコマを確認して、早々に下の運動場に逃げるのである。御神体に乗せた神輿が「浜下り」してくるとシシコマが子どもを追いかけて回し頭に噛みつくのである。怖くて必死で逃げたものだ。噛まれると一年間無病息災と言われている。今年も元気でお参りに行こうと思っている。
(牛尾 O・Y 30代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H27.10.1 現在 (前月比)

| | | |
|-----|-----------|--------|
| 総人口 | 27,669 人 | (- 52) |
| 男 | 12,792 人 | (- 27) |
| 女 | 14,877 人 | (- 25) |
| 世帯数 | 13,874 世帯 | (- 16) |



編集後記

特集記事のため准看護学校へ。教務主任の先生はとても穏やかに熱心な対応をしてくれました。知らないことばかりの私は、まるで入学希望者のように先生を質問攻めにしていました。今月の表紙「載帽式」のこともその一つで、『10月に「式」って中途半端な時期にあるんだなあ、頭にナースキャップを載せてもらってるってことは准看護師になれた、「卒業式」みたいなものでしょうか。』と大間違い。23頁に書いたように、載帽式は卒業ではなく、看護学生として覚悟のスタートだったんですね。学生の平均年齢は高く、子育て中や働きながら学ぶ人もいらつしやいます。社会貢献ができ、人の心にまで癒しを与える素晴らしい職業だと思います。准看護師を取得したあと進学して看護師免許も取れるそうです。テストや実習が続き、大変な学生生活だとは思いますが、家族の協力と年齢の不利を補って余りある熱意があり興味のある方はお問い合わせください。久しぶりの座学や年の違うクラスメイトは「一生の宝」になるのではないのでしょうか。